



目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
交通バリアフリー推進の集い冊子配布について
- (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ
遠州鉄道(株)のナイスパス(エコポイント)
サービスマネージャー増える。(3駅から6駅に)
点字テプラが販売されました
- (3) エコモからのお知らせ
旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました
参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～発刊しました
16年度手話教室が終了
17年度交通事業者手話教室締切前に定員を満たす
バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開
らくらくおでかけネット
公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
- (4) 行政からのお知らせ
公共サービス窓口配慮マニュアル(内閣府)
～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～(国土交通省)
都道府県別バリアフリー指標の公表
横浜地域における総合学習「交通バリアフリー教室」の実施
交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(国土交通省)
- (5) 各種催し物のお知らせ
第8回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2005～
光触媒環境産業展フォトリンフェア(2005年愛・地球博開催記念)
第31回土木計画学研究発表会
みんなのくるま2005
第21回DPI日本会議全国集会 in 福岡
日本福祉のまちづくり学会第8回全国大会
日経住まいのリフォーム博2005
第32回国際福祉機器展 H.C.R2005
福祉用具展 in 杜の都2005
P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展
- (6) その他
書籍に関して
記事募集中
お願い(必ずお読みください。)
・転送先について
・送付先について

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料(平成15年度、平成16年度)をご希望の方は、ご連絡ください。 FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

遠州鉄道(株)のナイスパス(エコポイント)

ナイスパスを持ってバスや電車に乗ると100円で1ポイントのエコポイントが貯まる。1000ポイント貯まると1000円分の商品券がプレゼントされるが、遠州鉄道では、マイカー利用者1名がバス・電車に切り替えると1ポイントあたり約500グラムのCO₂が削減されるとして、エコモビリティに力を入れている。

<計算式> 1ポイント=運賃100円=2.8キロ(基準賃率より)を自家用車が走ると、自家用車は1キロあたり176g(1人あたり)の二酸化炭素を排出するので176g×2.8キロ=500グラムの二酸化炭素を排出する。詳しくはこちらまで <http://navi.entetsu.co.jp/np/nicepass.htm>

サービスマネージャー増える。(3駅から6駅に)

東京メトロのサービスマネージャーは昨年4月1日発足し、現在で28名のスタッフがいる。現在、上野、銀座、日本橋、新宿、飯田橋、大手町の6駅に配置されています。業務は車いすやベビーカーの利用者のお手伝いや、運賃・乗り換えなど困っている方の案内や駅の構内、駅周辺の案内など仕事を行っています。サービスマネージャーはさまざまなお客様の問い合わせにすぐ対応できるようファイルやPDA等を携帯しています。

PDA(情報端末機):トラベルナビゲーター(乗り換え検索) / モバイルアトラス(地図)

和英辞典(外国人に対応) / ポケットICカード(乗車位置、ES・EVの場所、IC機能)など

ファイル:路線図、所要時分表など

携帯電話:お互いの情報交換

携帯袋:構内でゴミを見かけたとき、こまめに拾い駅美化に務める。

点字テプラが販売されました

株式会社キングジムから、点字も印字できるテプラが発売になりました。墨字との併記や点字のみの印字も可能。一般のテプラとしても使用することもできます。

詳細はこちらまで <http://www.kingjim.co.jp/products/electronic/tepra/sr6700d.html>

(3) エコモからのお知らせ

旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました

国土交通省は、国内旅客船のバリアフリー化の指針として、「旅客船バリアフリー設計マニュアル」を策定しているが、旅客船事業者及び造船事業者はこれまで旅客船のバリアフリー化に対する整備の経験も浅く、高齢者や障害者の移動をどのように理解し、整備するのが望ましいのか、その判断に苦慮している意見も多く寄せられていたことから、関係者にヒヤリング等を行い、具体的に分かりやすく説明したハンドブックを作成した。(1,500円 A4 115頁)

参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～発刊しました

市民参加をどの様にすすめばよいのかを多様な事例をもとに解説し、今後解決すべき課題を示しています。行政、交通事業者、まちづくり・障がい者団体等への基本テキストとして作成しました。2005年2月25日学芸出版社より発行(本体価格2,900円 A5 272頁)しました。概要は、下記ホームページをご覧ください。お買い求めについては、一般書店で取り扱っております。 <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/mokuroku/syohyo/index.htm>

16 年度手話教室が終了

昨年 4 月 28 日から実施した、交通事業者向けの手話教室は東京地区で第 1 期（半年間）、第 2 期（半年間）を実施し、大阪地区では去る 3 月 30 日、第 1 期（半年間）の手話教室を終了いたしました。延べ 40 名（修了書交付数）の方が手話初級教室を終了いたしました。

この 40 名の数字というのは、単なる 2~3 日の研修ではなく、半年間と言う長い間、教室へ通い、勉強され、且つ 7 割以上の出席をした方が修了書を受け取ったものであります。

手話教室を終了した受講者（交通事業者の職員）からは、「聴覚障害者は見た目には分からないが、駅を利用するときの苦労が良くわかった。」「手話の技術の習得は勿論だが、障害者の理解も深めることができた。また、受講生同士のコミュニケーションを図れて良かった。」「当社の駅員に簡単な手話を教えられたら良いと思う。また手話を習いたい。」「特に大阪地区の受講生からは、「現場で聴覚障害者と手話で話し、当事者に通じたときは、本当に嬉しかった。」「今後もこの手話初級より、もっと中級・上級の手話を開催して欲しい。」との意見がありました。

当財団も、当初は参加者がいるか、不安でしたが、あまりの反響の良さに、交通事業者の皆さんのバリアフリーに対する関心の高さ、と熱意を感じました。

ここに、この事業に協力して頂いた全日本聾唖連盟、大阪聴力障害者協会、参加頂いた交通事業者、国土交通省、近畿運輸局及び実施にご協力頂いた関西鉄道協会、関西交通経済研究センターの皆様へ深く敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

なお、本年度も引き続き東京及び大阪での教室が開講されています。

今回、参加して頂いた交通事業者等（東京地区においては、1 期、2 期の延べ数）

JR 東日本鉄道株式会社	4 名	小田急電鉄株式会社	3 名	東武鉄道株式会社	4 名
西武鉄道株式会社	2 名	東京地下鉄株式会社	1 名	全国乗用自動車連合会	5 名
六甲摩耶鉄道(株)	1 名	阪急電鉄(株)	3 名	大阪高速鉄道(株)	1 名
近畿日本鉄道(株)	3 名	北大阪急行電鉄(株)	1 名	大阪市交通局	3 名
京阪電気鉄道(株)	2 名	阪神電気鉄道(株)	2 名	神戸電鉄(株)	1 名
関西鉄道協会	2 名	近畿運輸局	2 名		

17 年度交通事業者手話教室締切前に定員を満たす

今年度の手話教室、東京 20 名、大阪 25 名、締切前に定員に達した。これはテレビのドラマ等で手話を取り入れられて、関心が高まったこともあるが、交通事業者として、お客様のニーズに応えたいとの表れであると思われれます。

バリアフリー学習図鑑（CD-ROM）の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での（心の）バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすい CD-ROM を作成しました。現在、交通エコモ財団のホームページにて公開しています。是非ご利用ください。

http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm

らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅 3,944 駅、空港 83、バス 180、旅客船 456 ターミナルの情報を提供しています。最近の 1 日のアクセス件数は、約 4,000 件となりました。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。また、ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス：（パソコン版）<http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

（携帯版 = i-mode, vodafone）<http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

（携帯版 = EZ-web）http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、

こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

(4) 行政からのお知らせ

公共サービス窓口配慮マニュアル(内閣府)

障害者基本計画に掲げられた「公共サービス事業者に対する障害者理解の促進」の具体化を目指して、障害のある方が窓口を利用する際に配慮すべき事項を具体的に示した「公共サービス窓口における配慮マニュアル」を初めて作成しました。この冊子は、国の公共サービス窓口機関で配布するほか、内閣府ホームページでも掲載されています。

<http://www8.cao.go.jp/shougai/index.html>

～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～
都道府県別バリアフリー指標の公表

国土交通省では、バリアフリー施設整備の進捗に、地方公共団体の取り組みに差が見られることから、旅客施設、道路、都道府県庁・市町村役場等の公共建築物、バス車両等のバリアフリー化の状況、交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況等の個別指標について情報収集を行い、地方公共団体毎にとりまとめて公表することとしました。

これにより、地方公共団体の意識の向上、基本構想作成促進を図り、面的なバリアフリー環境の整備に資することを目的としています。

http://www.mlit.go.jp/barrierfree/barrierfree_.html

横浜地域における総合学習「交通バリアフリー教室」の実施

関東運輸局では「心のバリアフリー」を推進するため、交通事業者に「交通バリアフリー教室」を、小中学校において総合学習の一環として、開催するよう呼びかけていたところ、神奈川県バス協会及び神奈川県タクシー協会より、管轄の横浜市内の小中学校において、ノンステップバス、介護タクシー等を用いて、開催したいとの要望が上がった。

これを受けて、早速に推進委員会、準備会を設置し、本年2月22日、第1回推進委員会を開催し、去る3月28日には、推進委員会WG実務担当者研修会を横浜市営交通局において開催した。

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(平成17年3月1日まで)

基本構想を作成済みの市区町村 173市町村(184基本構想)

詳細はこちらまで http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/jyurijyoukyou_.html

(5) 各種催し物のお知らせ

第8回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2005～

日時：5月20日(金)～22日(日)

場所：ポートメッセ名古屋

光触媒環境産業展フォトリンフェア(2005年愛・地球博開催記念)

日時：5月20日(金)～22日(日)

場所：ポートメッセ名古屋

第31回土木計画学研究発表会

日時：6月4(土)～5日(日)(予定)

場所：広島大学

みんなのくるま2005

日時：6月5日

場所：別府リハビリテーションセンター

第21回 DPI 日本会議全国集会 in 福岡
日時：6月11日(土)～12日(日)
場所：福岡国際会議場
日本福祉のまちづくり学会第8回全国大会
日時：8月25日～26日
場所：千葉県教育会館
日経住まいのリフォーム博 2005
日時：9月15日～18日
場所：東京ビックサイト
第32回国際福祉機器展 H.C.R2005
日時：9月27日(火)～29日(木)
場所：東京ビックサイト
福祉用具展 in 杜の都 2005
日時：10月8日(土)～9日(日)
場所：東北福祉大学
P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展
日時：11月13日～15日
場所：西日本総合展示場・本館(予定)

(6) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ。 http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

コラム

ゴールデンウィークも終わり、皆さんにおかれては休み中残された仕事の処理、また17年度事業開始早々で大変忙しい時期を過ごされていると思います。

最近、気がついたことに、区の図書館が素晴らしく利用者に使いやすいように工夫されていることに気づいた。私は土曜日か日曜日の休みの日だけしか利用できないが、ちゃんと開館している。朝は8時30分から午後8～9時頃まで開館しているのである。たまたま調べものがあったりすると図書館は静かだし、落ち着くし、書籍の在庫も充実している。

書籍もパソコンで在庫が確認でき、係員に聞く煩わしさもなく自分一人で利用しやすいのである。最近、区の仕事として拍手をおくりたい。